

三重、松阪の2高で共演

来月23、24日 ベルホールで演劇

部員減りライバルで協力

両校は、地域の高校の中でも演劇部の活動が盛んで、これまでは良きライバルの関係だった。しかしここ数年は、両校とも部員数が減少し、満足に配役もしにくい状態が続いてきた。

そんな中、今年8月末、三重高側が合同公演をしようと呼び掛けた。松高側もこの話に乗り、何度も相談を重ね、10月8日に両校生徒が出席して開いた会議で、合同公演の

松阪市久保町の私立三重高校演劇部（岩田和恵部長、10人）と同市垣鼻町の県立松阪高校演劇部（廣田義乃部長、7人）は、合同で公演するため「三松プロジェクト」（廣田義乃座長、17人）をこのほど発足した。第1回公演で演じるのは、「うみがめ荘へようこそ」（松阪駅前通り商店街振興組合後援）。来月23、24の2日間、同市日野町のベルタウン内ベルホールで、力を合わせて上演する。

開催を正式に決めた。合同での初公演で演じる「うみがめ荘へようこそ」は、老婆が1人で切り盛りする志摩地方の小さな民宿を舞台に、女子高生や中学生、謎の少女アヤコなどが登場する感動の物語。既製脚本「海猫ホテルへようこそ」（県立久居高校演劇部原作）を、三松プロジェクトで脚色した。

10月中旬ごろに配役や舞台裏担当の制作スタッフなどを決定。現在は、松阪高の部員が三重高に通つ形で午後4時から1時

間ほど、両校が練習を繰り返しており、せりふの言い回しや、舞台上での立ち位置などを確認している。

三重高演劇部の岩田部長は「両校演劇部には、それぞれが培ってきた伝統がありますが、これをきつかけに、互いの良いところを吸収し合っていきたい」、松高演劇部の廣田部長は「初めは練習でも緊張するほどでしたが、今は、共通の目標に向かって活動していきましょう」と、それぞれ初公演を楽しみにしている。



「うみがめ荘へようこそ」のポスターを手にする両校演劇部の部員ら
 〓久保町の三重高で

また、両校では今後も三松プロジェクトで、定期的に公演していく考えだ。

初公演は来月23日午後3時から、24日午前11時、午後2時からの3回上演。入場無料。